

パラグアイ海外邦人安全対策情報

(令和5年4月～6月)

1 安全に関する情報

(1) 外務省海外安全ホームページで、パラグアイ国内の以下の地域に危険情報が発出されていますので、ご留意ください。

● コンセプション県ウブ・ジャウ市と隣接するアマンバイ県内の県境付近、
コンセプション県の一部、サン・ペドロ県の一部、アマンバイ県カピタン・バド市、アルト・パラナ県
プレシデンテ・フランコ市

:「レベル2: 不要不急の渡航は止めてください。」(継続)

● アスンシオン市及び周辺、アマンバイ県ベジャ・ビスタ・ノルテ市、ペドロ・ファン・カバジェロ市、
カニンデジュ県サルト・デル・グアイラ市、アルト・パラナ県シウダ・デル・エステ市、イタブア県エン
カルナシオン市

:「レベル1: 十分注意してください。」(継続)

(2) 地域ごとの特に注意すべき点

ア. アスンシオン、シウダ・デル・エステなどの都市部を中心に、路上強盗被害が多発しており、多額の現金やスマートフォンを所持している者を狙った犯行が特に多くみられます。また、車での信号待ちの最中に強盗被害に遭う場合や徒歩での移動中の被害が多く発生しています。

イ. パラグアイ北部(アマンバイ県、コンセプション県、サン・ペドロ県)では、反政府武装組織「パラグアイ人民軍(EPP)」の活動が確認されています。同組織は、過去に警察官、軍人、地元住民など数十件に及ぶ殺人事件に関与しており、2009年には上院議員、2020年には元副大統領など多数の誘拐事件を主導したと言われていました。2022年10月に、EPP 幹部が警察に射殺されたことを受けて、翌11月 EPP によるものと思われる警察検問所への襲撃事件が発生しました。

ウ. また、北部のパラグアイ・ブラジル国境付近の地域では、ブラジルの麻薬密売組織「Primer Comando de la Capital(PCC)」が敵対する「Comando Velmelho」との間で抗争を続けており、度々銃撃戦に発展するなど地域の治安を脅かしています。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 全般

パラグアイ国内では、市街地でのオートバイを利用した拳銃使用の強盗事件、ひったくり、置き引き、車上ねらい等が発生しています。携帯電話、スマートウォッチ、貴金属等の露出には十分に注意し、不用意に貴重品を持ち歩かない、屋外では携帯電話の使用は極力控える、カバンは身体から離さない等、強盗・盗難の被害に遭わないよう基本的な防犯対策の徹底に心掛けてくだ

さい。徒歩による移動は、犯罪被害に巻き込まれるリスクが高く、日中でも人通りが少ない道路や夜間は特に注意が必要です。

路線バスでは、乗客の手荷物を狙った強盗やスリが多く発生しています。タクシーや配車サービスなどを含む車での移動時においては、信号待ちの際に開いていた車の窓から所持品を盗まれる被害が多発しています。

また、銀行や金融機関に出入りする客を狙った強盗事件も多く発生しています。金融機関をご利用の際は、日時や場所を変え常に周囲の状況を確認するようにしてください。

万が一強盗被害に遭った場合は、犯人の要求に従い絶対に抵抗しないでください。

(2) 主な事件概要(当地報道)

・4月1日日中、イタプア県エンカルナシオン市サン・イシドロ地区の商店に、2人組の男が押し入り、店員を拳銃で脅して現金約1,400米ドルと携帯電話1台を奪った。

・4月2日、アスンシオン市内のサッカースタジアム付近で、サッカーチームの熱狂的サポーターが国家警察の騎馬隊に向け発砲し、騎馬隊の馬が被弾した。

4月2日午後7時30分頃、アルト・パラナ県プレシデンテ・フランコ市サグラド・コラソン地区の住宅前で男性がオートバイで接近してきた武装犯に射殺された。

・4月22日深夜、アルト・パラナ県エステ市付近の国道2号線で、携帯電話を輸送中の車が迷彩服を着用した武装犯に止められ、携帯電話やノート型パソコン数台を強奪された。

・4月26日午後4時頃、セントラル県フェルナンド・デ・ラ・モラ市スル地区の公園で男性が携帯電話を操作していたところ、オートバイで接近してきた武装犯2名が拳銃で脅し携帯電話を奪おうとした。被害者が抵抗したところ武装犯は男性に向けて発砲。男性の携帯電話を強奪して逃走し、被害者はその後死亡が確認された。

・4月28日午前6時頃、セントラル県アレグア市サン・アントニオ地区の路上で、女性が娘と徒歩で移動していたところ、オートバイで接近してきた武装犯2名に拳銃で脅迫され現金と携帯電話が入ったカバンを強奪された。

・5月9日、アルト・パラナ県内の国道を車両で通行していた男性が道路で抗議活動を行っていたデモ隊に道を開けるよう求めたところ、デモ隊により車のフロントガラスなどを割られ、男性は頭を負傷した。

・5月23日午前10時40分、アルト・パラナ県エステ市内にて、車で武装犯約4名が会社事務所に侵入し、散乱銃などで職員を脅して現金(約14,000米ドル)を強奪した。

・5月27日、アルト・パラナ県エステ市内の住宅地で、武装犯5人が住宅へ侵入し、家主の男性に対し現金を渡すように要求した。男性が現金を持っていない旨を犯人に伝えたところ、武装犯は被害者の車を奪い現場から逃走した。

・5月29日午前8時40分頃、セントラル県ビジャ・エリサ市サン・ホセ地区の路上で、男性がオートバイで移動していたところ、オートバイで接近してきた2人組の男に拳銃で襲われた。武装犯らは被害者に発砲しオートバイを強奪し逃走した。被害者は左肩に銃弾を受け搬送先で死亡が確認された。

・5月31日、パラグアリ県パラグアリ市内において、女性複数名が金融機関で現金を引き出し車で移動していたところ、警察官を装った数名の武装犯に拳銃で脅され、所持していた現金850米ドルを強奪された。

・6月12日午前2時28分頃、アスンシオン市ビジャ・モラ地区の電化製品の販売店にて、オートバイ2台で訪れた武装犯4名が、閉店中の店内への侵入を試みたため、現場にいた警備員が取り押さえようとしたところ、武装犯に銃撃されて死亡した。武装犯は被害者が所持していた拳銃と商品の電化製品を奪って逃走した。

・6月18日深夜、アルト・パラナ県エステ市内中心部において、10人程の武装犯が携帯電話販売店に押し入り、警備員2名を拳銃で脅し武器などを奪い取ると、店のシャッターを壊して店内に侵入し、現金29,000米ドルを強奪した。

・6月21日夜、在パラグアイ米国大使館において、防弾チョッキを着用したドイツ国籍の男が、保護を求めて同大使館敷地へ立ち入った。不審に思った警備員が警察に通報し、駆けつけた警察官によって逮捕された。男が乗っていた車両から、自動小銃、弾薬の他、コカイン、大麻などの薬物が発見された。

・6月27日早朝、アルト・パラナ県エステ市内の路上で、男女が徒歩で移動していたところ、オートバイで接近してきた2人組の武装犯に拳銃で脅された。被害者の男性は抵抗したため犯人から銃撃を受け重傷を負い、犯人らは被害者らの携帯電話を奪って逃走した。